

わたしの歩んだ道

谷元圭介さん



〈プロフィール〉

三重県鈴鹿市出身。春日井市内の中部大学を経て、北海道日本ハムファイターズにピッチャーとして入団し、主に中継ぎとして活躍。平成28年には胴上げ投手として日本一を経験。平成29年途中から中日ドラゴンズに移籍。



転校を機に始めた野球

僕が野球を始めたのは小学3年生の時。転校先でできた友達が野球をしていて、転校先でできた友達が始めた。当時はプロ野球選手になりたいという思いはなく、純粹に野球が上手くなりたかった。純粋に練習に打ち込み、高校でも野球部に入部しました。

偶然の出会いから中部大学へ

高校3年生の夏の大会一回戦で、当



時の中部大学の善久監督（現総監督）が、対戦相手のピッチャーの視察に来ていました。その試合で偶然先発していた僕に声を掛けてくれたことがきっかけで、中部大学硬式野球部に入部することになりました。当時は大学で野球を続けるか迷っていたので、この出会いがなければ、プロ野球選手としての僕はいなかったと思います。

先輩のプロ入りを機に変わった意識

中部大学時代も初めはプロ野球選手になりたいという思いはありませんでした。しかし、先輩の鈴木義広さんが中日ドラゴンズに入団。身近な人がプロ野球選手になったことを機に、自分もプロの道に進みたいという意識が芽生えました。そして努力を重ねた結果、社会人野球を経て、北海道日本ハムファイターズに入団することができました。

重圧をはねのけ、つかんだ栄冠

プロになってからは、主に中継ぎとしての登板が多いです。一点差の場面で投げるときなどは、プレッシャーに押しつぶされそうになりますが、そのプレッシャーを楽しみ、無心で目の前のバッターを抑えることに集中しています。その結果、オールスターゲーム出場や日本一を経験することができました。

目標は中日ドラゴンズと日本一

昨年途中に地元の中日ドラゴンズに移籍しました。両親もよく試合を見に来てくれて、親孝行できているかなと思います。今の夢は、中日ドラゴンズで日本一になること。地元の皆さんに少しでも恩返ししたいと思っています。春日井市は暮らしやすいまち。中部大学時代は春日井市に住んでい

夢をかなえるために

みんないろんな夢を持っていると思います。夢をかなえるためのスタートラインに立つために、まず自分の可能性を信じてください。そして決して諦めず努力をして、困難をはね返してください。もし、その夢がかなわなくても、努力は無駄になりません。自分を信じて頑張ってください。僕もまだかなえたい夢があります。一緒に頑張らしましょう。



ました。よく市内のボウリング場や銭湯に行つたことを覚えています。春日井市は自然や公園、飲食店が多く、名古屋にも近い。とても暮らしやすいまちだと思います。今でも年末年始には大学の練習に顔を出したり、OB会に参加したりしています。僕にとつてたくさん思い出が詰まったまちです。